

江原小彌太 （註） 小説家、評論家。明治十五年十月四日新潟縣生乳、
昭和五十三年四月（百殘（二八八—一九七））。明治二十二年高田師範學校
卒。小學校教員、新聞記者、會社員、書店經營等を経くし、大正期宗教文
學流行時に『新約』等キリスト教を題材とした作品を續々發表。また、
『江原小彌太個人雜誌』を發行。

著書『心靈學』全二册（上卷・大正十一年六月十日、下卷・七月一日
越山堂書店）、『混濁』（大正十一年三月五日太陽堂）、『女子多面
・下卷』（大正十二年五月二十日越山堂書店）、『新自然科學と生活
革命』（大正十二年七月十六日越山堂書店）、『我が人生觀』（大正
十三年四月二十日越山堂）、『現實の宗教』（大正十四年六月一日越山
堂）、『小彌太^平人生問答』（岡本一平共著、大正十四年八月十八日越
山堂）、『吾が人生記録』（大正十五年二月十八日越山堂）、『伊藤
一隆』（編、昭和五年一月一日木人社）、『感想集』（昭和五年十一
月十日木人社）、『人生論』講』（中世淨之助共著、昭和七年六月
二十五日東京堂書店）、『心の置どころ』（昭和十年七月十日千倉書
房）、『若き日の良寛』（昭和十年十一月十日第一書房）、『家の問
題と家族』（昭和十一年四月一日千倉書房）、『男女生活の設計』（新
定普及版・昭和十二年十二月二十九日千倉書房）、『菩薩—日本臣民
史八部作第一卷—』（釋迦時代
・菩薩思想の起り』（昭和十七年十月十五日帝國教育會出版部）等。